

One Coin 量子力学入門

2025/12/28,29

[1]: 最精密力学では物理量演算子 A と力学状態関数 ψ の二本立ての理由

(1) 目的は物質現象の最精密な力学記述<原因力と結果=力学状態(物理量複数)>。

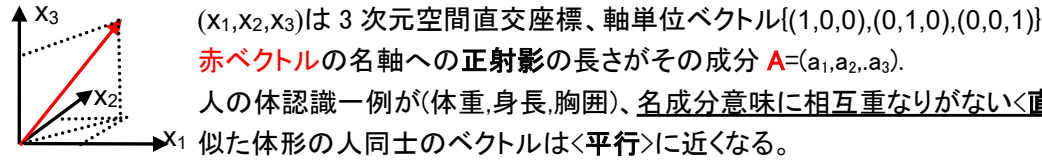
(2)、一般生活での認識対象、ミクロ物質世界の観測対象は共通にベクトルで表現できる。

近日 AI 沸騰、認識対象 = 文書、画像は vector=(a₀,a₁,a₂,...) の多変数列表現、量子論も同じ、

観測対象 = 一般量子状態 ψ=(a₀,a₁,a₂,...)。

固有状態=(1,0,0,0,...),(0,1,0,0,...),(0,0,1,0,0,...),... これら直交ベクトル系は相互相似性 0 で最精密状態。

以下の相似性計算の為に vector 長さ=1. ⇒ √(∑_{k=0}[∞] a_k²)=1.

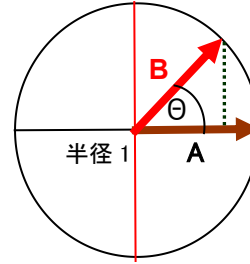


(3) 観測(認識)対象相似性 = 2個のベクトル A, B 方向の一致程度<角度 θ>

cos(θ) = ∑_{k=0}[∞] a_kb_k..... 内積計算、A=希望対象、B=試行錯誤対象群

* AI は一途にランダム素材合成 B から内積計算で θ ~ 0 に近い B を試行錯誤決定。

* 正射影(内積計算, 相似性計算): B の A への (A の B への) 並行成分抽出。



(4) 量子状態関数 ψ に至る経緯 = 正規直交完全関数系で量子状態ベクトルが関数表現になる。

正規直交完全関数系 = { φ_k; k=0,1,2,... } <φ_j|φ_k> ≡ ∫_{-∞}[∞] dx φ_j^{*}(x) φ_k(x) = δ_{jk}..... 内積計算]

* δ_{jk}=1; j=k, =0; j≠k. * φ^{*}(x)=複素共役.}

一般量子状態 ψ = ∑_{k=0}[∞] a_k φ_k ≡ (a₀, a₁, a₂, ...)..... 直交関数座標系での一般混合量子状態関数化表示

a_k = ∫_{-∞}[∞] dx φ_k^{*}(x) ψ(x) = ∫_{-∞}[∞] dx φ_k^{*}(x) ∑_{j=0}[∞] a_j φ_j(x)..... 確率振幅..... 各最精密成分への正射影

証明: 1 ≡ ∫_{-∞}[∞] dx ψ^{*}(x) ψ(x) = ∑_{k=0}[∞] a_k^{*} a_k = ∑_{k=0}[∞] |a_k|²..... 確率正規性..... ψ は統計集団で測定個別である成分のみの実現確率。

(5) 自己共役演算子 A は固有値方程式以下から完全直交系 { φ_k; k=0,1,2,... } を形成(数学定理)

A φ_k = α_k φ_k..... k=0,1,2,........ 固有函数 φ_k と固有値 α_k.....

* 自己共役の意味: 物理量期待値は自己共役演算子を挟んだ内積計算、当然値は実数でなければ観測不可能、

: 物理量期待値 <φ|Aφ> = <φ|Aφ> = ∑ α_k |a_k|²..... * φ^{*}(x)=複素共役.

(6) 自己共役演算子 A は量子論の観測可能物理量<量子論仮定..... 共立物理学公式集 p229>。

直交固有関数系は重ならない最精密量子状態、A はその観測値 α_k の可観物理量。

* 自己共役演算子が量子論の観測可能物理量なる機構<<観測認識同定は全て内積計算になった。測定値もこの延長上に>>、

(a) 自己共役演算子スペクトル表現 = |φ_k> への射影演算子(同定測定): A = ∑_{k=0}[∞] α_k |φ_k><φ_k|.....

⇒ 証明: A|φ_j> = α_j |φ_j>..... 固有値方程式.

(b) 測定値も内積計算になった。⇒ 証明: <φ_j|A|φ_j> = α_j <φ_j|φ_j> = α_j..... 物理量 A とその測定固有値.

(c) 可観値全リストは物指し A 内部に既にあり、実観測はその実現固有値状態一つ同定内積計算 <φ_k|Aφ_k> = α_k

<ψ|Aψ> = ∑_{k=0}[∞] |a_k|² α_k..... 固有状態混合<時間発展形に限る>の物理量統計期待値,

[2]: Schrodinger 方程式への経緯.

(7) deBroglie の物質波: ψ(ω, k) と実際のエネルギー-運動量(E, p) 演算子<量子論経験法則>

E = ħω..... Plank の放射式(1900)..... 黒体放射古典論破綻での離散エネルギー値の大仮説。

* ħ = Plank 定数 = 1.054494 × 10⁻³⁴ Joule.sec. <量子論成立の基礎, 交換関係登場>

p = ħk..... de Broglie の物質波(1924)..... 粒子と同時に波動性現象(回折)も付随、... 量子論のフランス革命、

ψ(ω, k) = exp<i(ωt - kx)> = exp[(Et - px)/iħ]..... 量子自由粒子平面波の仮定

上記 ψ を固有値関数と仮定して見ると、実際の可観物理量 = 自己共役演算子が浮上する。

エネルギー期待値: <ψ|Eψ> = <ψ|(iħ ∂ / ∂ t)ψ>.....

運動量期待値: <ψ|p_xψ> = <ψ|(-iħ ∂ / ∂ x)ψ>.....

E = iħ ∂ / ∂ t
p _x = -iħ ∂ / ∂ x

(8) 水素原子の電子状態 Schrodinger 方程式導出(1926)..... 物質波仮説 2 年後.

古典力学エネルギー式: E = p²/2m + V(r) = H..... ハミルトニアンエネルギー演算子、V(r) = 電子原子静電力

物理量対応類推: E = iħ ∂ / ∂ t, ... p² = -(ħ²/2m) [∂² / ∂ x² + ∂² / ∂ y² + ∂² / ∂ z²].

H = -(ħ²/2m) [∂² / ∂ x² + ∂² / ∂ y² + ∂² / ∂ z²] + V(r)..... r = √(x² + y² + z²), x = (x, y, z).

固有値式対応: Eψ = Hψ. ⇒ iħ ∂ ψ / ∂ t = [-(ħ²/2m) [∂² / ∂ x² + ∂² / ∂ y² + ∂² / ∂ z²] + V(r)] ψ.

ψ(x, t) = exp(Et/iħ) ψ(x). ⇒ [-(ħ²/2m) [∂² / ∂ x² + ∂² / ∂ y² + ∂² / ∂ z²] + e² / (4πε₀r)] ψ(x) = Eψ(x)

* 水素原子大成功から量子力学は実用大発展!!、同時に時間発展論大停滞も、